



全国生協労働組合連合会

闘争情報1642号

2010年1月28日(木)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9

TEL 03-3408-0067・7695

<http://cwu.jp/>

## 10 春闘組合学校 各地で開催

### 労働組合に結集して 10 春闘がんばろう 東北地連

1月16～17日、14単組98人が参加して、10春闘組合学校が開催されました。

初日は医労連の田中委員長から、「民主党政権交代で政治とくらしはどう変わる!」と題して、記念講演をいただきました。世論に訴えることで、さまざまな医療現場の改善を進めてきたことや、今の民主党政権において労働者をめぐる情勢がどのように変化していこうとしているのか、労働組合としてのとりくみ、重要性をみんなで学びました。講演中での「私の病院に来てくださいと言えるか」という言葉に、多くの参加者が考えさせられ、「自分の生協に買物に来て」と自信を持って言えるのかと、その後の各分散会でも大きな話題となりました。分散会では、労基法・労働組合法・労働契約法・パート法・労働安全衛生法といった活用機会が多い労働法制の学習会、店舗・共同購入・本部・大学と業態別に分かれて、記念講演と生協労連の提案、職場の実態について出し合い、労働組合としてどのように10春闘をとりくむのか討論しました。

2日目はこれまでの模擬団交に代わり、初めてのとりくみとして「労組検定」を実施。今春闘では、法律遵守(コンプライアンス)が求められており、労働組合が理事会の運営の牽制機能を果たしていく上でも非常に重要。その一方で労働組合自体が労働法制をどのくらい理解をしているかも含めて、再度学習をして、試験も行ないました。

最後に生協労連東北地連から春闘方針がされ、東北地方の事業状況は厳しい状況が続いているので、労働組合に結集し、生協運動と労働条件の向上のために2010年春闘をがんばっていくことを確認し、団結がんばろうで閉会し終了しました。



### 鳩山首相へ要請書提出

「労働者の賃金等の改善に向けた積極的対応を求める」 全国労働組合総連合

全労連が鳩山首相へ、労働者の賃金などの改善に向けた積極的な対応を求めて、要請書を提出しました。要請したのは、以下の3点です。

巨額の内部留保を蓄積している企業に対し、その取崩し等による賃金改善や雇用拡大、下請け単価引き上げ等を求める行動を積極的にとっていただくこと。貴職として、前記立場での要請を日本経団連等に行っていただくこと。

「国民の可処分所得を増やし、消費の拡大につなげる」とした民主・社民・国民新党の政権合意を踏まえ、「時給1,000円以上」を実現する最低賃金引き上げ法案を提出していただくこと。

深刻な雇用実態を早期に改善するための雇用対策を早期に実施していただくこと。